

研究の基本的な考え方

中学校理科における「科学的に探究する」活動を通して、生徒が学びを「ものにする」授業づくりに迫りました。

研究主題

生徒が見通しをもって自然に働きかけ、
論理的・科学的な思考力を育てる理科学習
～中学校理科における、主体的・対話的で深い学びを目指して～

授業づくりの視点（生徒が科学的に探究する姿）

視点1 主体的 生徒自身が問いをもつ

- ☆ 自然の事物・現象から問題を見いだす
（「なぜ～」「どうして～」）

《授業づくりの具体例》

- ・ 見通しをもてる課題の設定
- ・ 教材教具の工夫
- ・ 発問、切り返しの工夫

視点2 対話的 生徒同士で学び合う

- ☆ 協働的に活動する
- ☆ 科学的な根拠に基づいて議論する

《授業づくりの具体例》

- ・ 指導方法、学習形態の工夫
- ・ 自分の考えを広げたり深めたりする場面の設定

視点3 生徒が学びをものにする

- ☆ 学びを、次の学習や日常生活に結びつける
- ☆ 理科で育成を目指す「資質・能力」を獲得する

《授業づくりの具体例》

- ・ 自己の考えの変容を感じる場面の設定（まとめ、振り返り）
- ・ 理科の「見方・考え方」を働かせながら探究的に活動する学習指導過程の工夫

深い学び

全国中学校理科教育研究会
九州中学校理科教育研究会
宮崎県中学校理科教育研究会

中学校学習指導要領（文部科学省）
授業改善に係るチェックポイント4+4
（宮崎県教育委員会）

西都・児湯地区の生徒の理科教育上の課題

- 科学や自然に関する疑問を、人に質問したり、調べたりすることがあまりできていない。
- 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中であまり活用できていない。
- 理科の授業で、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりすることが苦手である。

※ 本研究における「科学的に探究する姿」のとらえ

「生徒が見通しをもって自然に働きかけ、論理的・科学的な思考力を育てる」＝「探究の過程」を通して、理科の「見方・考え方」が鍛えられていき、その結果として新たな「資質・能力」を獲得する。さらに、それを基に次の「見方・考え方」が磨かれていくというサイクルを経て、学んだことを「ものにする」。

実践的研究スタイル

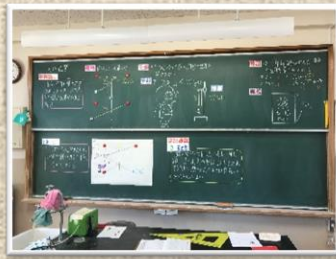
西都・児湯地区中学校理科教育研究会

「授業の工夫・改善」をねらいとした **研究の歩み**

本研究で目指す授業の具現化に向けて、**研究授業**や**ワークショップ型の研究協議**を通して、多角的な視点で意見を交換し合うとともに、研究部主催の**授業検討会**（**模擬授業**や**教材研究**）を設定し、教授技術の向上を図りました。



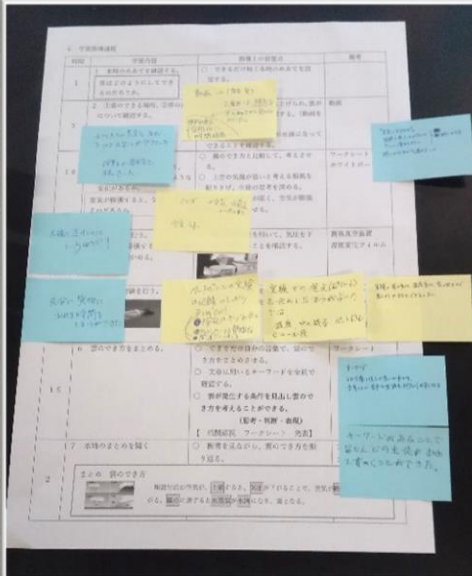
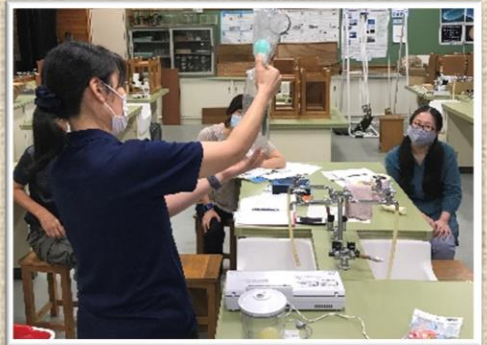
研究授業
光による現象
大気中の水の変化



授業検討会
(模擬授業・教材研究)



研究協議



実務者会（研究推進委員会）の開催



研究構想や活動計画を協議
(オンラインツールによる会議も実施)

地理巡検



西都・児湯地区の理科的な資源や
地理・風土の教材化を検討

その他にも、

充実した研究体制